

ほっこり ウィークリー (毎週金曜日発行)

22号
2020
10.9

京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142
http://www.pref.kyoto.jp/plant/

行事予定と今週ぜひ観ていただきたい植物の情報をお届けします！

※休園日は、年末年始(12/28~1/4)だけです。



第5回 インテリア・プランツ展 (販売あり)

- 期間：10月9日(金)～10月13日(火)
- 場所：観覧温室特別展示室
- 内容：室内で楽しめる多肉植物、観葉植物等を展示

【インテリア・プランツの寄せ植え講習会】

10月10日(土)、11日(日)
1回目：10:30～、2回目：13:30～
定員：各回先着10名

申込方法：往復ハガキに講習会名、受講希望の日・時間、住所、氏名、電話番号を明記

★参加費：1,000円(別途入園料、温室入室料が必要)
★〆切：10/2(金) ★会場：観覧温室特別展示室

第53回 秋のバラ展

- 期間：10月16日(金)～10月18日(日)
- 場所：植物会館1階展示室
- 内容：バラの切り花約800本を展示

◆10/18(日) バラ展関連講習会

植物園会館2階研修室 13:30～15:00
(当日会場受付 13:00～)
内容：バラの栽培について

東洋蘭講演相談会

- 日時：10月18日(日) 13:30～15:00 (受付13:00～)
- 場所：植物園会館2階多目的室
- 内容：寒蘭、春蘭など東洋蘭全般の栽培を中心とした講習会
- 講師：東洋蘭洛風会会員

第54回 菊花展

- 期間：10月20日(火)～11月15日(日)
- 場所：大芝生地特設展示場
- 内容：大菊、小菊(懸崖作り、盆栽作り)等、約300鉢を展示(販売あり)

「園長と園内散歩」

10月25日(日) 何処を歩くかはお楽しみ！

植物園会館前集合：午後2時スタート！

スマホdeガイド



QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定！

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成！「おすすめ樹木めぐり」「おすすめエリアガイド」などをスマホで確認し、植物観察！

第3回 秋の洋ランと着生植物展

- 期間：10月22日(木)～10月26日(月)
- 場所：観覧温室特別展示室
- 内容：秋に咲く洋ラン約200鉢とシダ類等の着生植物を展示(販売あり)

ガーデニングコンテスト

- 期間：10月24日(土)～11月8日(日)
- 場所：正門園路特設ガーデン
- 内容：個人・グループがガーデニング力を競います！

植物園の森と水 油彩展

- 期間：10月27日(火)～11月1日(日)
- 場所：植物園会館1階展示室
- 内容：植物園の樹木や水辺を描いた作品を展示

第36回 菊花切花展

- 期間：11月3日(火・祝)～11月5日(木)
- 場所：植物園会館2階多目的室
- 内容：大菊の切り花約100点を展示

寄せ植え講習会 募集中！！

11/7(土) 13:30～15:00

- ★季節の植物を使った寄せ植えづくり(実習) ★定員：30名
- ★参加費：3,000円(別途、入園料が必要)
- ★事前申込：往復ハガキに講習会名、住所、氏名、電話番号を明記
- ★〆切：10/30(金) ★会場：植物園会館2階多目的室

「土曜ミニミニガイド」 技術課職員が植物解説！

毎週土曜日は・・・

植物園会館前集合：午後1時スタート！

「植物園ガイド」が植物案内！

～見どころ案内・魅力解説・楽しさ倍増！～

- ① 7名以上のグループや団体で来園される方を対象
- ② 申込は希望日の10日前までに。(要相談)
- ③ ガイドは1時間程度。(無料)

* 申込先：京都府立植物園 TEL 075-701-0141

植物園芸相談

- 毎週 日曜日 午前9時～正午、午後1時～午後4時
- 電話075-701-0141で



※年間パスポート好評発売中

- ・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです！
大人1000円 高校生750円
- ・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。
※温室観覧料は別途必要となります。

植物園HP！



今週の「探して！」

2020. 10. 9
22号

⑫ クバナラ・ドミンゲンシス

アカネ科。ドミニカ共和国に分布。当園では2006年に種子を導入してバックヤードで栽培を開始した。生育に応じて鉢のサイズを大きくして栽培し、2010年に国内で初めて開花した。芳香があり、特に夜間は強く香る。(ジャングル室の高台付近)

⑪ フジバカマ

キク科。関東以西から九州などに分布。秋の七草として知られる。アサギマダラなどのチョウをはじめ、多くの訪花昆虫が花の周囲を優雅に舞う。かつて京都府内では絶滅したと考えられていたが約20年前に西京区大原野で発見された。

⑩ オヒルギ

ヒルギ科。奄美大島以南の琉球列島から東南アジアなどに分布。マングローブ林の代表的樹種の1つ。花後、胚は木に付いたままで発芽し、長さ15~20cmの根を出す。種子ではなく、苗で繁殖するので、胎生の植物の1つとしても有名。

⑨ トウワタ

キョウチクトウ科。野生種は南アメリカが原産。花後にできる果実が熟して弾けると、中からフワフワした綿毛の付いた種が出て来ることから「トウワタ(唐綿)」の和名が付いた。寒さに弱いため、日本では一年草として扱われる。

① ツリフネソウ

ツリフネソウ科。北海道から九州、朝鮮半島などに分布。「釣船草」と書き、花の形が帆掛け船をつり下げたように見えることから名が付いた。学名のImpatiensは「我慢できない」という意味があり、果実に触れる種子が飛び散ることに由来。

② トウガラシ(観賞用)

ナス科。野生種は中央・南アメリカに分布。日本でよく食用や観賞用に用いられるのはアンヌーム種で、数多くの雑種や園芸品種が生まれており、果実の姿形は球状、円錐状など様々。全米審査会(AAS)での優良品種を展示している。

③ ソバ(赤花)

タデ科。原種はネパールで発見された。通常、ソバは白色の花が咲くのが特徴。休耕地を活用した地域おこしなどで景観用作物として利用されている。収量は一般の白花ソバの約3分の1程度とのこと。

④ パンパスグラス

イネ科。南アメリカやニュージーランドなどに分布。アルゼンチン中部に広がる大草原「パンパ」で多く見られることからこの名が付いた。洋風の庭に植え込むほか、切り花などとしても利用される。和名では「シログネヨシ」とも呼ばれる。

⑤ シュウメイギク

キンボウゲ科。中国、台湾などが原産。現在では野生種やそれらを交配して作られた品種をまとめてシュウメイギクという。そのうち、八重咲きで赤花のものが京都市北部の貴船地域で多く見られることで、「キブネギク」とも呼ばれている。

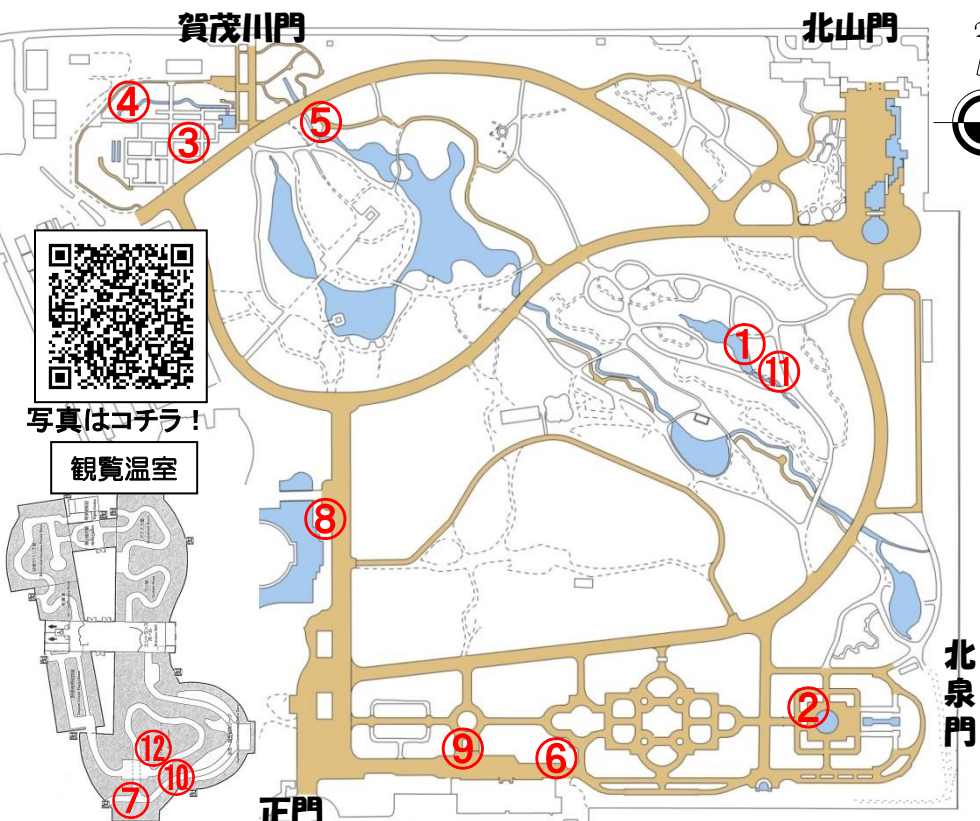
⑥ キンモクセイ

モクセイ科。中国南部原産。江戸時代初期に渡来。雌雄異株であるが日本には雄株しか入っていないため結実はしない。開花とともに甘く強い芳香が広がることが特徴で、属名のOsmanthusも「香りの花」というギリシャ語が語源となっている。



写真はコチラ!

観覧温室



⑧ ブルグマンシア

ナス科。野生種は熱帯アメリカに分布。楽器のトランペットのような花がたくさん垂れ下がって咲く姿は、日本の植物にはない迫力とトロピカルな印象。その見た目から「エンジェルズ・トランペット」とも呼ばれている。

⑦ ヘリコニア・ロストラタ

オウムバナ科。南米ペルーと米国ハワイに分布。ロストラタは「くちばし状」の意味。色鮮やかな部分は苞で、花粉を運んでもらうためにハチドリをひきつける色や形に進化した。目立たない黄色の花は苞の中に多数あり順番に開花する。